

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS半田校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 11日		2026年 1月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2026年 1月 19日		2026年 1月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様が楽しく安心して利用して頂いていること ・事業所の環境や体制整備で高い評価を頂いていること 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の安心感をしっかりと築いていくことができるように指導員と楽しい雰囲気の中で身体を動かし、関係づくりをしています。 ・お子様のやりたい・楽しい気持ちを大切に意欲的に取り組むことができるように支援プログラムを立案しています。 ・毎日、清掃と消毒を行い、定期的に点検を行う中で安全に利用して頂けるように努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の皆様にも安心して利用して頂けるように支援終了後には担当指導員よりお子様の様子や発達に必要な情報をお伝えし、ご家族様との関係づくりも大切にしています。また、お困りごと等がある時は面談等を行い、家族支援もしています。 ・発達が分かりやすいように具体的な目標を立てて、成長を感じて頂けるように関わっています。 ・ヒヤリハット集を作成し、職員間で共有する中で対策と改善を速やかに進めています。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・原始反射の統合に向けた専門的運動療育が受けられること ・1対1の個別療育で発達段階に合わせた支援を受けられること 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は全て、本部にてS.I.C.KIDSオリジナルの基礎研修を受講してからお子様の支援に関わっています。 ・お子様ひとりひとりの成長された所、伸びしろポイントを職員間で情報共有し、支援に繋げています。 ・お子様・ご家族様のニーズや要望を分析し、お子様の発達段階に合わせて、プログラムを立案しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキル向上に向けた研修や勉強会に積極的に参加し、支援に繋げています。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族様との関係づくりも大切にしていること ・カメラで実際にお子様とどのように関わっているか見て頂けること 	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング終了後にお子様の様子をお伝えしたり、園やご家庭での様子、お困りごと等をお聞きして情報共有しています。また、ご家族様のご要望をお聞きして、面談を行い、家族支援も行っています。 ・支援の様子だけでなく、事業所を利用するにあたってのご説明等は詳しく丁寧に説明することを心掛けています。 ・カメラで実際の支援を見て頂きながら、支援のご説明やご家族様からのご質問・お悩み事などをお聞きしております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族様からも話しやすい環境作りを目指して、職員から保護者様にお声がけして、お話す時間を作っています。 ・ご質問を頂いた際には、早急に対応できるように努めております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会やペアレントトレーニング等の勉強会を開催することができていないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に落とし込んで計画的に保護者同士の交流や勉強会の計画立案が出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップで、保護者様が知りたい情報や勉強会などの情報を集めて、年1回開催することから始めていく。 ・保護者様同士の交流の機会を作り、ご家族様への支援も強化していきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流を行うことができていないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・1対1の個別療育の為、事業所内を出て活動する機会がないです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生や高校生の職場体験を通して、事業所のことをまず地域の方に知ってもらい・興味をもってもらうことから始めていきます。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルや非常時等の対応について、事業所での取り組みきちんと周知できていないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等で活動内容を発信したり、チラシを配布したりはしていますが、マニュアル等は待合室に置いてあるだけになってしまっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・置いておくだけでなく、声掛けをしたり、積極的に発信を行い、もっと周知していくことができるように努めていきたいと思っております。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	S.I.C.KIDS半田校
------	---------------

公表日 2026年 3月 1日

利用児童数 6

回収数 6

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	0	0	0	・同じ時間枠に最大3名のお子様が入室し、活動スペースは一人ひとりのお子様に思い切り身体を動かして頂くことができるぐらいの広さがございます。支援室の広さは事業所の魅力の一つでもあります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	0	・法に基づき、有資格者・必要人数を配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	0	0	1	・絵カードやタイムタイマー等を活用して、特性に応じた配慮を心掛けております。入口に段差があり、スロープがない為、必要に応じて考慮し、対応していきたいと思っております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	0	0	1	・毎日、清潔に保てるように清掃を行い、時間ごとに支援室の換気と教具の消毒を行っております。更に安全面に配慮し、支援室や教具の安全点検を週に1度行っております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0	・保護者様と面談する中でニーズ等を把握し、計画を立てています。 ・スモールステップで目標を設定し、利用者様が安心して楽しく通って頂く中で達成感に繋げていくことができるように心がけております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	0	・支援プログラムはホームページに掲載して公表しております。事業所内にも掲示して周知してまいりたいと思っております。 ・原始反射の残存の影響を改善するためのお子様に必要な運動療育プログラムを主に提供しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0	・半年に1度、保護者様と面談や送迎時に情報共有をさせて頂いております。また日々、トレーニング記録を作成しております。その中でニーズや課題を把握し、分析してスモールステップで個別支援計画の作成を行っております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0	・ガイドラインを基にお子様・保護者様のニーズ等を把握し、分析を行っていく中でスモールステップで目標・支援内容の設定を行っております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0	・児童発達支援計画と毎回の支援記録を基に職員間でお子様の情報共有を行い、指導員がお子様に必要な支援プログラムを考え、自主性を大切にしながら支援を行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	0	0	1	・お子様の姿を様々な指導員の視点から気づくことができるように、毎回、担当指導員をかえて支援を行っております。その中で支援の方向性は職員間で共有し、数あるトレーニングからプログラムが固定化しないようお子様の様子を見て工夫をしております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	0	3	0	・現在、通われているお子様は保育所や幼稚園、こども園、療育園に通園しながら並行してご利用頂いております。事業所では個別療育の為、交流や活動を共にする機会はないのですが、同じ時間帯でご利用のお子様同士の交流があります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0	・体験時や契約時に保護者様と面談させて頂き、ご説明させて頂いております。ご不明な点等がございましたら、いつでもご質問下さい。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	1	0	0	・利用開始時と半年後の計画更新時に保護者様にお時間を頂き、児童発達支援計画をご覧頂きながら説明をさせて頂いております。ご不明な点等がございましたら、いつでもご質問下さい。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	0	1	・S.I.C.KIDSご利用の保護者様向けセミナーやファミフェス等を開催しております。今後も様々な企画・開催を行い、ご案内できるようにしていきたいと思っております。皆様のご参加、お待ちしております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	5	1	0	0	・送迎時にご家庭や園での様子をお聞きしたり、トレーニング終了後や連絡帳でお子様の様子やトレーニング内容をお伝えして、情報共有を行っております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	1	1	1	・利用時に保護者様と情報共有させて頂く中でご相談やお困りごとに関して、助言をさせて頂いたり、面談を行ったりしております。子育てサポートの中で実際にお子様の様子などもご確認頂いております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0	・お子様の自己肯定感に繋げていくことができるように、できた体験を沢山経験してもらい、できた・頑張った喜びや満足感を保護者様にもお伝えして、共に成長を喜び合い、支援することを大切に関わらせて頂いております。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	2	2	1	1	イベントの開催が少なく、今後の課題と考えております。ご意見を参考にさせて頂き、今後も様々な企画・開催を行い、皆様にご案内できるようにしていきたいと思っております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1	0	1	・児童発達支援計画に相談支援について記載し、ご説明させて頂いておりますが、より相談しやすい環境の整備と相談できる場があることを皆様に広く周知していくことが課題と考えております。事業所側からもお声がけさせて頂き、相談しやすい環境に努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	0	0	1	・送迎時やアプリなどのツールで保護者様と連携を取らせて頂き、情報伝達を行っております。また、利用時に事業所側からお声がけさせて頂いております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	0	0	2	・インスタグラムやブログにて活動概要や行事予定を発信しております。自己評価の結果についてはS.I.C.KIDSのホームページの事業所一覧より、S.I.C.KIDS半田校の最下部「評価表」よりご覧頂くことができます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	0	・契約時の書類や個人記録等は鍵付きの書庫で保管をしています。今後も個人情報の取り扱いには細心の注意を払ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	2	・各種マニュアルは待合室にファイルにまとめて設置させて頂いております。皆様に周知して頂けるように今後もしっかりと説明してまいります。 ・訓練は定期的に行い、インスタグラムやブログにて発信もさせて頂いております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1	0	2	・定期的に避難訓練等を行っております。利用者様にも参加して頂く際には事前に皆様にお知らせや連絡ツールで周知させて頂き、訓練の様子もインスタグラムやブログにて発信させて頂いております。今後も様々な状況を想定し、訓練を行っていきたく思います。ご協力よろしくお願いたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0	・安全計画を作成し、定期的に安全点検や訓練を行っております。また、安全確認を行いながら、支援をしています。今後も反省点等を見直しながら安全の確保をしっかりと行い、支援していきたく思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	2	・事故や怪我が発生した場合は、お子様の安全確認と状況確認を行い、速やかに処置と保護者様へご連絡をさせて頂いております。今後も安全面に配慮しながら安心して利用して頂けるように、また、速やかに対応できるように努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	0	・ひとりひとりのお子様で安心できる場所となることを日々、大切に支援しております。今後もお子様・保護者様が安心して利用して頂くことができるように努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	0	0	0	・お子様が元気に笑顔で来てくれる姿を私たち、職員も嬉しく思います。今後も楽しく身体を動かして、気持ちもリフレッシュしながら過ごすことができるように関わっていきたく思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0	・今後もお子様の成長と自己肯定感を高めながら、たくさんできた体験や様々な経験を通して成長や発達に繋げていくことができるように微力ではございますがお手伝いさせて頂けたらと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		S.I.C.KIDS半田校			公表日	2026年 3月 1日		
		チェック項目		工夫している点			課題や改善すべき点	
		はい	いいえ					
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		多くて3人なので、狭さは感じません。支援スペースも広く、2つの空間で思いっきり身体を動かせるようになってます。2つのルームがありトレーニング内容によって使い分けたり、子ども達も伸び伸び身体を動かしていると思います。			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		1対1で支援が出来るため手厚いと感じます。職員の人数により、受け入れるご利用者様も計算し、適切を保っています。規定に準じた職員数の配置数にはなっています。シフトによって人数が少ない日は、次の支援準備や片付けが慌ただしくなる大変さはあります。配置基準以上配置されています。			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		靴箱やトイレは絵カード(写真)を貼って視覚化されています。段差のない室内になっています。子どもたちが安心して、分かりやすい教具遊びが出来るように対応しています。見通しカード等で視覚支援も取り入れています。タイムタイマーなども使用しています。平屋なのでバリアも少ないです。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の清掃に加え、週に1回消毒・点検を行っています。基本的に教具の配置は変えず、安心して使える空間になっています。支援前後に消毒・換気を行っています。トレーニングルームは、支援内容や利用者の状態によって、支援員同士で連携し使い分けています。			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		トレーニングルームに入室できない場合、待合室やミーティングルームで支援することがある。トレーニングルームは2か所に分かれており、別室での対応もできます。ミーティングルームがあるが、ルーム内使用時に別に一人になれるスペースがあってもいいかもしれない。ご利用者様の心理状況により安心して過ごせる場所を考えるようにしています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	参画しやすいように記録や書類をまとめてあります。入社初年度のためか振り返りはあまり参加出来ていないように感じます。計画に基づいて支援を行い、それぞれ振り返り記録として残していますが、全体での共有し合う時間は少ないと感じます。少しずつではありますが、目標設定と振り返りを行っています。			・目標設定と振り返りを丁寧に行ってい、業務改善を進めていきたいと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	全保護者様に定期的に評価表を配り、改善等はミーティング等で話しています。評価表は全保護者に配布されているが、回収率などが分からず把握できていません。評価結果の共有がすぐには行われず、今の段階では把握できていないです。できるだけ早めに共有ができるといいです。			・保護者様のご意見を参考に今後、業務改善に努め、安心して利用して頂けるようにしていきたいと思います。 ・評価結果を集計後なるべく早く共有できる体制を作っていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		気になる事があればミーティングにてホウレンソウが出来ています。改善に繋がっているものもありますが、職員全員がそろえる機会が少なく、共有し辛さを感じる時もあります。支援の事、環境の事に関しては気付いた点など共有したり、休みの人にも伝わるようコーチ連絡帳を使い伝えるようにしている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	評価表の配布・改善まとめはされています。外部評価がされているか把握できていません。外部評価の頻度等、不明な部分があります。第3者評価は実施していません。			・第三者による外部評価は行っておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		月に1度は研修を行い、学んでいます。自治体からの研修案内は掲示されており、法人内でも定期的に開催されています。研修日とシフトの都合で参加が出来にくく、後日個人で動画を視聴することが多かったです。内部研修を行う場合もあります。外部研修の案内を閲覧しています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムが全職員が見れるようにファイリングされています。個々のファイルにて保管され、いつでも見返せるようになってます。HP上に公表されています。			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		モニタリング時に保護者様だけでなくお子様にも頑張りたい事出来るようになりたい事を聞きそれも踏まえて計画を立てています。子ども本人からのニーズが聞き取れない事が多く、保護者様からの聞き取りを反映させています。原始反射チェックや日々の支援のフィードバックを行っています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援会議にて検討が行われています。計画を立てる前に職員たちに意見を聞きまとめています。支援会議を行い、意見交換を行っています。気になる事などあれば、その都度話し合いを行っています。			
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画はすぐに見返せるようにファイリングされています。支援目標と支援内容を意識して支援出来るようにしています。毎回個別ファイルで記録を確認し、継続した支援が出来るように心がけています。			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		原始反射の残存チェックは統一されたものを使用しています。保護者向けの日常チェックシートもあります。日々の行動観察のアセスメントは無いように感じます。日々の行動観察を記録に残し、共有を図っています。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		会議にて、狙いが高い・低いと感じるものは共有・相談して子どもの姿にあった支援内容に設定されているように感じます。個別支援計画に沿って支援を行っています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	3	担当職員がその日にプログラムを立てています。継続して取り組みたいものは共有されることもありますが、1対1の関係上個々人でその日のプログラムを立てています。その日の担当者がプログラムを立てています。今までの支援記録を見て、最近の様子・変化などにも配慮し提供しています。			マンツーマン支援のため、チームでの立案が難しい所もありますが、職員間で共有をしっかりと行い行っていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		担当が固定ではないため、プログラムの立て方や支援も固定化されていません。同じメニューでも取り組み方に变化を持たせるなど工夫しています。			
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	2	基本的に1対1なので、集団活動の計画はないです。同枠の他児との関わりの計画はあります。個別療育なので1対1が多いが、場合によってはお友達との関わりを交えての支援になることもあります。必要に応じて他児との関わりも視野に入れていきます。			基本的に1対1の支援なので、集団活動が難しいですが、小集団の活動で取り組めるものがあれば、考えていきたいです。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		担当児・モニタリング・来客等は共有されています。イベント等もあれば共有されています。日々の支援は1人で組み立てています。朝のミーティングでは、担当の子やその他連絡事項を確認しています。支援前に同じ時間帯の職員と支援内容を共有し合う事はありますが、難し時もあります。			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終れで共有されています。共有しそびれたものは記録や共有ノートで共有されています。支援終了後の終れで、各担当の方から支援の振り返り、共有の時間はありますが時間が短いので、もう少し長く取れるといいと感じます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		担当が固定ではないので、子どもも様々な姿を見せてくれますが、記録されているため支援が行いやすいです。必ず毎回記録を取っています。それを基に次の支援に活かせるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		基本6か月に1度、モニタリングを行っています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービ担当会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		基本的に児発管が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	保護者を通じて医療機関で行っていることや行ってほしいトレーニング等を共有されています。必要に応じて関係機関と話をし連携をしています。少しずつではありますが、連携を進めています。連携は行っていますが、医療など弱い分野があります。	・連携が弱い機関とは今後連携を深めていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4	そのケースをまだ見ておらず把握できていません。情報共有は行っていますが、連携など弱い部分が多いです。	・園から小学校に上がるケースが少ないですが、連携を深めていきたいと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4	そのケースをまだ見ておらず把握できていません。情報共有の頻度は不明です。情報共有などまだしっかりとできていないです。	
関係機関や保護者との連携	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けているか。	3	3	研修は受けています。連携などまだ弱い所が多いです。	・児童発達支援センターと連携を図ることはできていないです。研修等に参加する中で交流を深め、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けていけるようにしていきたいと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	戸外での活動がないため、地域の子どもの活動する場面がありません。形態上、機会を作るのは少し難しいと感じます。他との交流がないです。	・1対1の支援の関係上、他の子ども達との交流が難しいですが、同じ時間の支援を受けている他児との交流などやれることを行っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		その日担当した職員から様子をつたえられています。利用終了時にトレーニングの様子や成長した部分など伝えていきます。保護者の方からも家・学校の様子を教えてくれることもあるので、共有することになっています。アプリでもお伝えしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		本部主催でも家族向けの研修があると聞いています。半田校で行っているかは把握できていません。S.I.C.KIDS半田校で開催することは、今年度はなかったですが、市町村から案内があれば待合室に掲示したり情報を伝えてはいます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に児発管が行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		半年毎のモニタリングにて意向を確認しています。支援中にも子どもに確認を行ったり、支援後に保護者様にも支援内容をお伝えして確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		児発管より説明して同意を得ています。	
保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		普段の申し送り時に悩み等を伺う事もありますが、必要に応じて別日に時間を設け、家族支援を行う事があります。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	開催されているのは見ておらず、同仲になった子の保護者同士顔を合わせるくらいで、交流としては設けられていません。保護者同士・兄弟同士は形態上、機会を設けていません。待合室で交流することは出来ます。	・様々な交流する機会を作り、支援に繋げていきたいです。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		要望を受けた職員が全職員に共有・検討しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNSを活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		インスタグラムにて、日々の活動の様子を発信しています。遊戯訓練などのレギュラーな支援は該当児にお知らせしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付きの書庫にて保管しています。SNSには個人を特定できる写真は上げずに保護者様にも確認の上、発信しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		情報の視覚化はされています。子どもの姿に合わせてLINEやチャットを使って様子を共有することもあります。	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	地域との関りはほとんど見たことがありません。形態上、地域住民との交流機会は難しいと感じます。福祉の相談窓口の看板は出していますが日が浅いです。	・地域住民を招待する等のイベントや行事を実施することはできていません。 今後、保護者様の意向もお聞きしながら地域交流に繋がる支援も検討していけたらと思います。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		6	マニュアルは待合室に置き、保護者さまにも周知されています。訓練は定期的に行っていますが、シフトの都合で参加出来ない事があります。		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		6	定期的に行っていますが、シフトの都合で参加できないことも少なくないです。おこなっていますが、出勤ではない職員は訓練しないままなのでBCP訓練の際は、全職員が参加出来るようにして、緊急時の対応を実際に訓練していくとよいと思います。		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		6	フェイスシート・アセスメントシートにて把握しています。		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	給食やおやつ提供はしていないので、特に対応はしていませんが、アセスメントシートにてアレルギーは把握しています。	・おやつ等の食べ物の提供はしていない為、医師の指示書に基づく対応はしておりません。お子様の特性を理解し、保護者様に確認を取りながら安全に配慮して支援を行ってまいります。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		5	定期的に研修・訓練を行っています。	・年間計画など職員と共有していきます。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		4	1	インスタ等で訓練内容を知らせています。まだ周知が弱い所があります。	・年間計画など職員と共有していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		6	ヒヤリハットがあった場合は記入し、原因と防止策について考えています。全員が共有しきれていない等あるので、回覧するなどして再発防止に努めていきたいです。ヒヤリハットは書類で報告していますが、会議などで報告・検討はほとんどしていません。		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		6	定期的な虐待防止研修を行い、共通認識が持てるようにしています。		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		6	現在身体拘束が必要となるお子様はいませんが、会議等の話し合いで決定しています。		